



レコードマネージャーガイド

Version 2.5J



目次

目次.....	2
はじめに.....	4
レコードマネージャーの起動.....	5
レコードマネージャーのアイコンの場所.....	5
パスワード.....	5
登録.....	6
クラス.....	7
クラスの追加、編集.....	7
Path Manager.....	8
クラスの削除.....	11
クラスの選択.....	11
生徒.....	12
生徒の追加.....	12
生徒の移動.....	14
生徒名の削除.....	14
架空生徒名でクラス名簿を作成（オンライン版）.....	14
生徒のデータと学習経路の編集.....	14
テストとレッスンのロック及びロック解除.....	15
クラス名簿の印刷.....	15
学習記録.....	16
各コースの学習記録の表示.....	16
コースの選択.....	17
プレースメントテストの記録の表示.....	18
Intelligent Tutor.....	19
各生徒の学習記録の表示（レッスン順）.....	20
レッスンのロックとロック解除.....	21
各生徒の学習記録の表示（日付け順）.....	21
学習記録の印刷.....	22
インターネットレコードマネージャーの学習記録をオフラインで表示.....	22
全ての学習記録をシンクロ（オンライン版）.....	22
ローカル学習記録をインターネット学習記録に自動シンクロ.....	22
検索（オンライン版）.....	22
Extension Activities.....	23
学習スコア（SS）と学習スコア加重平均（WSS）.....	24
インポートとエクスポート.....	26
生徒名をインポートする.....	26
生徒名をエクスポートする.....	26
生徒のデータをエクスポートする.....	26
このスクリーンをエクスポートする.....	26
管理者オプション.....	27
レコードマネージャー オプション.....	27
一定期間の学習記録を表示.....	27
コースを学習している生徒の確認.....	27
管理者パスワードの変更.....	27
学習記録のバックアップ.....	28
バックアップデータの通知（ローカル版）.....	28
製品のアップデート.....	28
ビデオ圧縮フォーマットの選択.....	28
データベースをマージする.....	29
モニターパスワードの設定（オンライン版）.....	29
デモクラスとプレースメントクラスの設定.....	30

クラスの有効期限を設定（オンライン版）	30
E メールオプション	31
E メールされた学習記録をインポートする	31
テクニカル ログファイルを DynEd へ E メールで送る	31
セットアップの仕方を生徒に E メールで送る（オンライン版）	31
セットアップの仕方を教師に E メールで送る（オンライン版）	32
生徒に E メールを送る	32
生徒と教師にメッセージを送る（ローカル版）	32
付録 A：ダインエド マネージメント システム	33
ディスクレス ライセンス システム	33
付録 B：ライセンスマネージメント	34
付録 C：学習状況の把握	35
学習進度	35
学習進度の調整	35
シャフラーレベル	36
学習進度の換算	36
管理者ログファイルを表示	36
付録 D：List of Exported Fields	37
ソフトウェア使用許諾契約書	38

© 2008 DynEd International, Inc. All rights reserved.

<http://www.dyned.com>

はじめに

レコードマネージャーをご購入頂きありがとうございます。ダイネドコースウェアを英語教材として使用している教育機関では、レコードマネージャーを利用することにより、生徒の学習記録を容易に管理することができます。特に、マスタリーテストを使ったり、レッスンをロック、又はロック解除したり、学習状況を詳しく把握するにはレコードマネージャーが必要です。

詳細はこのガイドの付録をご覧になるか、参考資料として以下のマニュアルをご覧ください。マニュアルはインストール用ディスクに入っています。

- ネットワーク インストレーションガイド
- ユーザーズガイド
- テスト及び評価に関するガイド
- プレースメントテスト教師用ガイド

ダイネドコースウェアを英語教材の一環として取り入れることができるよう、ほとんどのコースウェアに教師用ガイドが用意してあります。教師用ガイドにアクセスするには、レコードマネージャーの中のクラスを開け、プルダウンメニューのヘルプに行きます。次にマニュアルに行きリストから教師用ガイドを選んでください。また <http://www.dyned.com/support/> からダウンロードすることもできます。ダウンロードにはユーザーIDとパスワードが必要です。DynEd Japanまでお問い合わせください。

新しい機能

最新版レコードマネージャーに、Progress Manager 機能と Extension Activities 機能が新たに搭載されました。これにより、短期間における進歩の状況を容易に把握でき、また教師に授業内容の提案（セッションプラン）をします。

レコードマネージャーに新たに搭載された上記の機能を利用すると、ダイネドのコースウェアを使ったマルチメディア教育の管理、学習の評価、遠隔学習等を更に効果的に行うことができます。

レコードマネージャーの起動

レコードマネージャーのアイコンの場所

Windows	Macintosh
 Records Manager or Records Manager.exe	 Records Manager

レコードマネージャー アプリケーション は、コースウェアを インストールする 時に自動的にインストールされますが、ライセンス契約をし登録をしないと使用できません。

ローカル レコードマネージャー インストールレーション：

レコードマネージャーにアクセスするには、ダインエドフォルダ（コースをインストールした場所にある）に行き、レコードマネージャーアイコンをダブルクリックしてください。

インターネット レコードマネージャー インストールレーション：

インターネットレコードマネージャーにアクセスするにはダインエドフォルダ（コースをインストールした場所にある）に行き、レコードマネージャーアイコンをダブルクリックしてください。レコードマネージャーが起動したらユーザーID とパスワードを入力するとクラスリストが表示されます。

注：ネットワークインストールの場合、ネットワーク管理者が教師のコンピュータのデスクトップに、レコードマネージャーのアプリケーションショートカットかエイリアスを作るとレコードマネージャーを使い始める時に便利です。

パスワード

レコードマネージャーを使用する際、クラスリストが表示されます。リストにクラス名がない場合は「[クラスの追加、編集](#)」の項をご参照ください。

クラス名を選択するとパスワードに関するダイアログボックスが表示されます。選択したクラスに関してパスワードを設定しなかった場合は、「OK」をクリックしてください。パスワードを設定する場合はクラス名をハイライトした後、編集ボタンをクリックするとダイアログボックスが表示されます。「教師用パスワード」の欄にパスワードを入力してください。パスワードが正しくタイプされたかチェックする為に「パスワードの確認」の欄にもう一度パスワードを入力します。以後、このクラスの学習記録を確認する時はパスワードの提示が求められます。生徒がレコードマネージャーにアクセスするのを防ぐため、教師用パスワードを設定することをお勧めします。なお、管理者パスワードを使用するとどのクラスにもアクセスすることができます。



クラス インフォメーション	
クラス名	English 101
教師名	John Keyes
教師のEメール	
教師用パスワード	
パスワードの確認	

登録

レコードマネージャーは登録されないと使用することができません。インターネットをご利用の場合はおそらく既に登録されています。ダイネエドの製品を登録する際は、ユーザーズガイドの「製品の登録」をご参照ください。既にコースウェアをインストール済みの場合は、プルダウンメニューのオプションに行き「ライセンスマネージメント」を開いて下さい。以下のようなダイアログボックスが表示されます。

注：レコードマネージャーを購入しなくても、他のライセンスの登録状況及びレジスターを、上記の画面でいつでも確認することが可能です。

ライセンスマネージメントのスクリーンを使ってレコードマネージャー（インストール済みであるが登録をしていない）を登録する場合、もしくは新しいライセンスを追加登録する場合は、以下のステップで行ってください。

- 画面左上に **Installation Code** が表示されています。登録したい製品（インストール済み）の **Installation Code** をハイライトしてください。新しいライセンスの **Installation Code** を入力する場合は、**New Installation Code** をクリックしてください。
- インストールに使用しているコンピュータがインターネットにアクセスできる場合は、「オンラインに登録」のボタンをクリックしてください。**License Agreement** が表示されるので、同意か否かをクリックします。同意をクリックするとダイアログボックスが表示されるので、必要事項を入力し「今、登録する」をクリックしてください。
- インストールに使用しているコンピュータではなく、他のコンピュータがインターネットにアクセスできる場合は、「www.dyned.com/register」に行き「**Confirmation Code**」を入力すると「**Registration Code**」が表示されます。「**Registration Code**」を入力し「**Submit**」をクリックしてください。
- インターネットにアクセスできない場合は「**License Certificate**」に記載されているいずれかの方法で「**Registration Code**」を入手してください。

Confirmation Code と Registration Code を入力する際、コピーしてペーストすると便利です。Windows は「Ctrl+C」（copy）と「Ctrl+V」（paste）、Macintosh は「Command+C」（copy）と「Command+V」（paste）です。

クラス

ダイネドのコースウェアをインストールすると新しいクラスが自動的に作成され、全生徒がそのクラスに登録されます。レコードマネージャー（登録済み）を使うと複数のクラスを作成することができ、目的に応じて生徒を各々のクラスにグループ分けすることができます。クラス、教師、生徒を新しく追加することはいつでも可能です。

クラスの追加、編集

追加又は編集ボタン（パスワードの提示が必要）をクリックするとダイアログボックスが表示され、パスワードやテストオプションも含めてクラスを設定、変更することができます。又、生徒が使用できる機能を設定したり、学習時間の調整ができます。

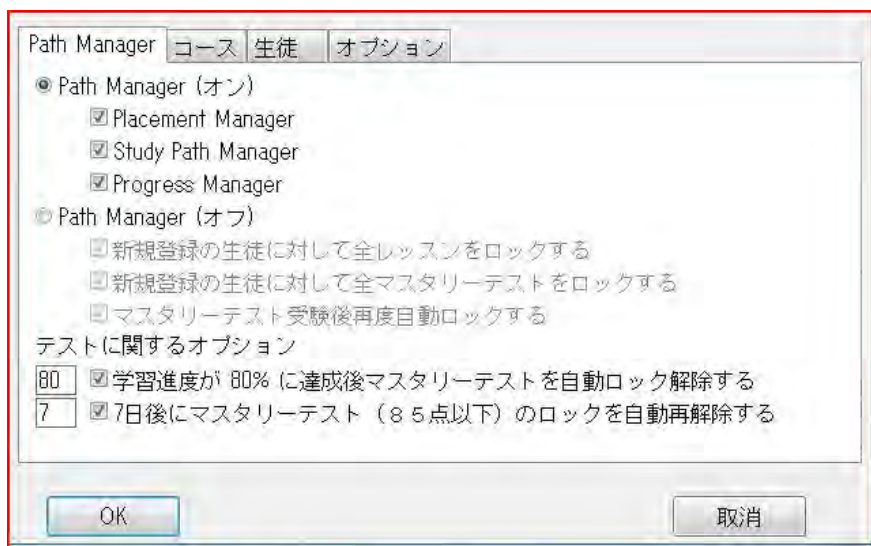
- **クラス名**：「英語授業」のようにクラス名を入力。クラス名はいつでも変更 できます。
- **教師名**：このクラスの教師名を入力
- **教師の E メール**：教師の E メールアドレスを入力（オプション）
- **教師用パスワード**：教師用パスワードを入力（オプションただし推奨）
- **パスワードの確認**：正しいパスワードが入力されたかを確認するためもう一度パスワードを入力（オプションただし推奨）

注：教師用パスワードは、数字 1 字以上と文字 1 字以上を含む 6 字以上の文字列にしてください。

Path Manager

Path Manager は、生徒にプレースメントテストとマスタリーテストを受けるように指示し、その結果により各生徒に適したコースやユニットが自動的にロック解除される機能です。教師が手動でロック／ロック解除する必要がないので時間の節約になります。新規クラスの初期設定で Path Manager はオンになっています。

注：既存の生徒が 1 時間以上学習した場合、Placement Manager はオフになり、この生徒はプレースメントテストを受けるよう指示されません。



Path Manager (On)

- **Placement Manager**：ここにチェックマークを付けると（初期設定）、新規登録の生徒に対して学習を開始する前にプレースメントテストを受けるよう指示があります。プレースメントテストが終了すると、ロック解除されたコースウェアリストが表示されます。コースを選択し学習を開始する前にマスタリーテスト（インストールされている場合）を受けるよう指示があり、学習するコースが生徒のレベルに適しているかを確認できます。これらのテストの結果、生徒は適切なユニットから学習することができます。
- **Study Path Manager**：ここにチェックマークを付けると（初期設定）、生徒に適したコース／ユニット／レッスンが自動的にロック解除されるよう設定されます。そして以下の 2 つの条件が満たされた場合、次のユニットがロック解除されます。
 - 学習しているレッスンの学習進度が 50% を超える（この場合、他のコースがロック解除されることもある）
 - 学習済みのユニットのマスタリーテストの得点が 85 以上

注：教師が他のレッスンをロック解除した場合、Path Manager 機能が教師の変更を妨げることはありません。

- **Progress Manager**：ここにチェックをつけると（初期設定）Progress Manager 機能が学習レポートを作成し、マスタリーテストの結果を確認することができます。また、指定された期間内に学習したレッスン数（LESN）、およびラーニングステップ数（LS）を表示します。ラーニングステップ数とは繰り返しボタンや録音ボタンなど、各ボタンの使用回数です。この学習レポートは、短期間における進歩の状況を把握する際に便利です。

この機能がオンの場合、レッスン開始前と終了後にマスタリーテストを受けるよう指示があり、それぞれのテストの結果を表示します。この機能に関する詳細はウェブサイトの「Progress Manager」もしくは「Student and Class Reports」をご覧ください。

Path Manager (Off)

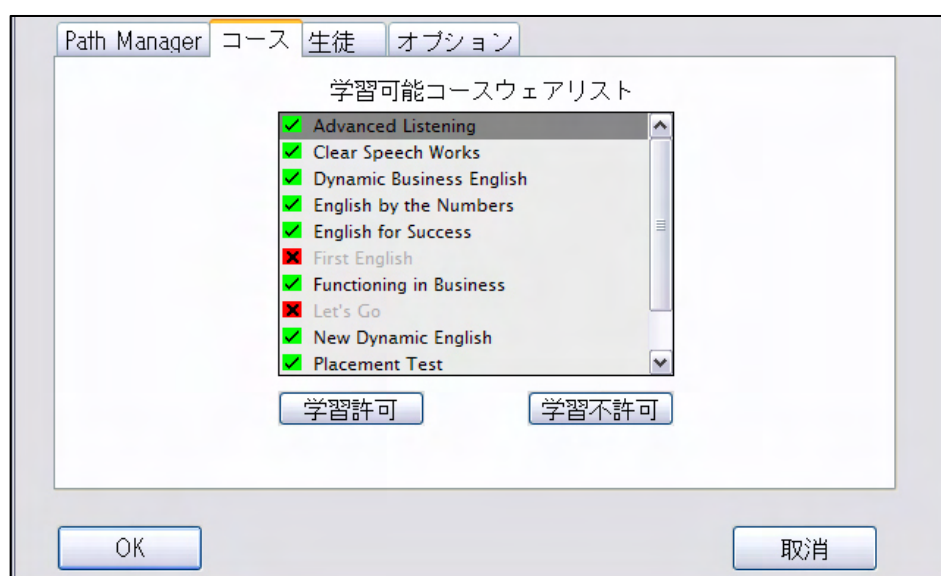
- **新規登録の生徒に対して全レッスンをロックする**：ここにチェックマークを付けると、新規登録の生徒に対して全てのレッスンが事前に生徒の目に触れよう自動ロックされます。レッスンにアクセスするには教師がロック解除します。その際、マスタリーテストをロック解除しないよう注意してください。マスタリーテストは生徒が十分に学習をした後で受けるようにしてください。
- **新規登録の生徒に対して全マスタリーテストをロックする**：ここにチェックマークを付けると、新規登録の生徒に対して全てのマスタリーテストが事前に生徒の目に触れないよう自動ロックされます。マスタリーテストにアクセスするには教師がロック解除します。この機能は初期設定でオンになっています。
- **マスタリーテスト受験後再度自動ロックする**：ここにチェックマークを付けると、マスタリーテストを受験後、再度自動ロックされます。この機能は初期設定でオンになっています。

テストに関するオプション

- **学習進度が80%に達成後、マスタリーテストのロックを自動解除する**：教師が指導しないような状況でマスタリーテストを受けたい場合、このオプションを選択すると便利です。この場合、レッスンの学習進度が、教師によって設定されたパーセンテージに達成すると、テストのロックが自動解除になります。通常、80%以上に達してからマスタリーテストを受けることをお勧めします。
- **最初のテストから何日後かにロックを自動再解除する**：最初に受けたマスタリーテストの得点が85以下の場合、このオプションを使うと次のテストが自動的にロック再解除されます。何日後に再解除するかは、教師が設定してください。

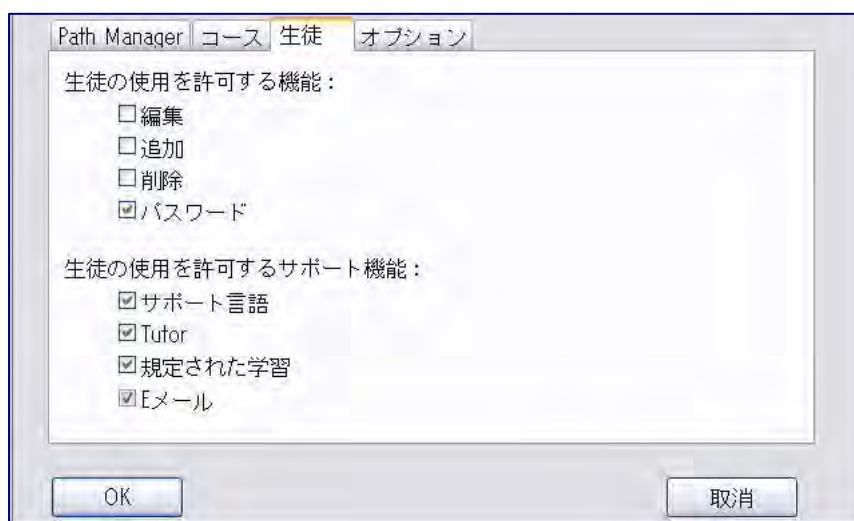
コース

コースタブをクリックするとライセンス契約がなされているコースリストが表示されます。学習不許可になっているコースはアクセスできません。学習を許可／不許可にする場合は、そのコースを選びボタンをクリックしてください。



生徒

生徒に使用を許可する機能はここで設定できます。ラボ学習などのように生徒が自分で登録しなければならない場合、これらの機能を使用する許可を与えると便利ですが、通常初期設定のままにしておくことをお勧めします。



生徒の使用を許可する機能

- 「編集」「追加」「削除」：これらの機能の使用が許可される（チェックマークあり）と、生徒は自分で名前やパスワードを入力することができ、自主学習をする時などに便利です。新しいクラスを追加した場合、通常これらの機能は使用不可に設定されています。クラスを作成する前に生徒が学習を開始すると、クラスが自動的に作成され、このクラスでの「編集」「追加」「削除」機能は使用可能で、クラスの名前は「クラス名」となりこのクラス名はいつでも変更可能です。**注**：Internet Records 版の場合、編集機能のみ使用可能です。
- パスワード：通常、初期設定でチェックマークが付き、生徒は学習中パスワードの使用が可能になります。

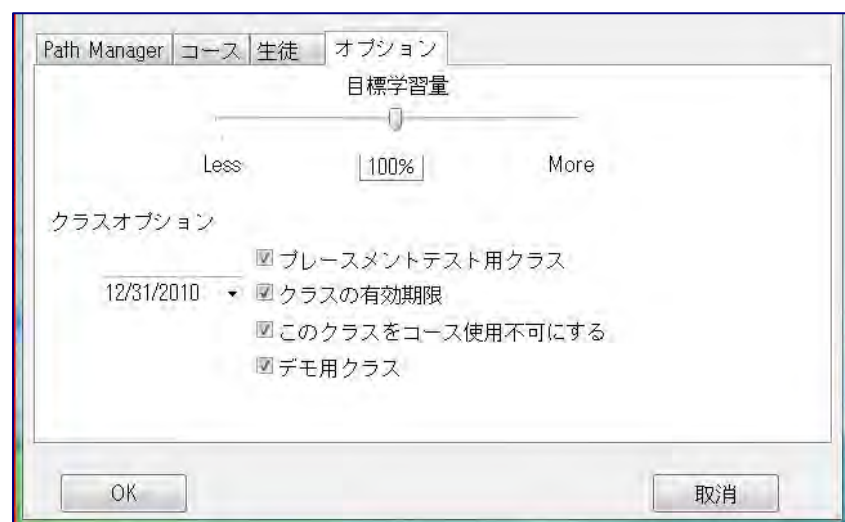
注：生徒名や学習記録が間違えて削除されないように、通常「削除」機能は使用不可（チェックマークなし）にすることをお勧めします。

生徒の使用を許可するサポート機能

- サポート言語：学習中の指示を母国語で聞くか否か、あるいはヘルプメニューなどが母国語で表示されるか否かを選択します。通常母国語のサポートがある方に設定されていますので、母国語サポートが必要でない場合はチェックマークとってください。
- Tutor：このオプションにチェックマークをつけると、生徒は[Tutor](#)機能を活用して学習の秘訣や学習スコアを確認することができます。
- 規定された学習：この機能は通常、以下のように設定されています。この機能を無効にしたい場合はチェックマークを消してください。
 - プレゼンテーションレッスン以外は学習中早送りボタンを使用することはできない。
 - 各センテンスにおいて、繰り返しボタンをクリックしてからでないとテキスト表示ボタンと翻訳ボタンは使用できない。
 - 1回の学習セッションで、続けて3回以上同じレッスンを学習することはできない。ただし、プレゼンテーションのレッスンは除く。

オプション

目標学習量のスライダーを移動させることで、教師が生徒の学習進度を調整することができます。スライダーを中央より「less」の方に移動すると、学習進度を容易に高いパーセンテージにすることができ、「more」の方に移動すると高いパーセンテージにするのが難しくなります。詳細は「[学習進度の調整](#)」をご参照ください。注：Internet records版の場合、クラスの有効期限を設定することができます。

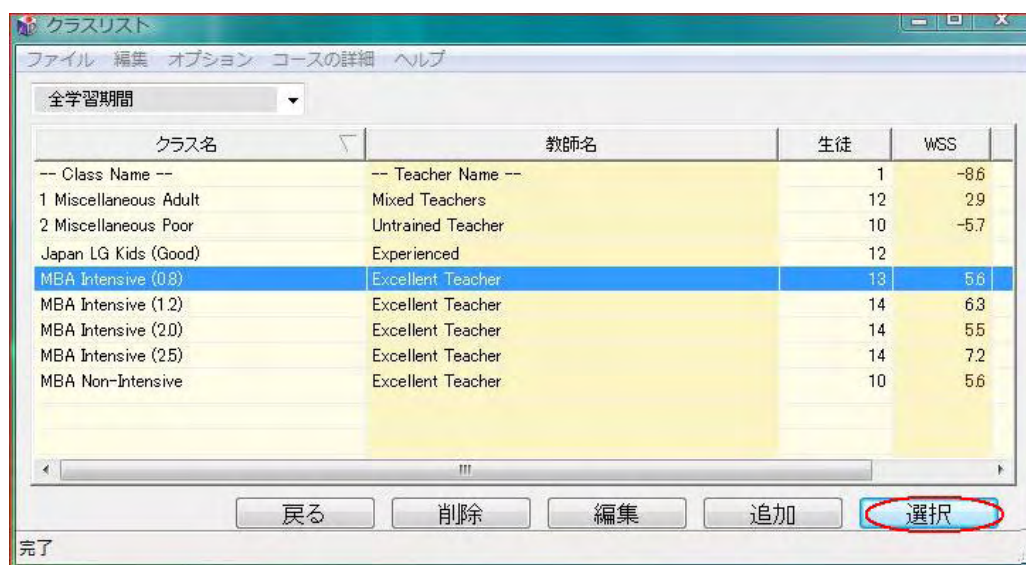


クラスの削除

削除したいクラスを選び、「削除」ボタンをクリックしてください。クラス名、及びそのクラスの生徒全員の学習記録も削除されます。このため、教師が定期的に学習記録をバックアップすることをお勧めします。

クラスの選択

レコードマネージャーを起動させるとクラス選択のボックスが表示されます。クラスを編集、削除する時は、クラス名をハイライトしてからそれぞれのボタンをクリックしてください。又、学習記録を確認したい時はクラス名をハイライトし、次に選択ボタンをクリックしてください。新しいクラスを追加する時は追加ボタンをクリックしてください。注：Internet records 版の場合、各クラスの生徒数とアクセス最終日を表示します。



生徒

選択したいクラスをダブルクリックするか、ハイライトして選択ボタンをクリックするとパスワードの提示を求められます。パスワードが設定されていない場合はそのまま「OK」をクリックしてください。パスワードが設定されている場合は、そのパスワードを入力し「OK」をクリックしてください。学習記録が表示されます。

下記のスクリーンはこのクラスに所属する生徒全員の学習記録で、クラス名、教師名、及び生徒数が最上部に表示されています。複数のコースウェアがインストールされている場合は、ポップアップメニューから確認したいコースを選択できます。その際、選択したいコースをハイライトしてください。コース名の横の数はそのコースを学習した生徒数です。

Student Name	Time	Module	M	PL	Days	Tests	SS	Rep	ABC	Tra	Mic	SR-C	SR-A
02MBAF01**	52:31	Module 5	5	1.5	0	96	5	3154	197	1110	1476	2860	
02MBAF02**	54:04	Module 2	3	2.5	1	97	5	11465	73	369	1294	2144	
02MBAF03**	61:32	Module 5	5	2.0	3	98	7	8371	307	1474	1745	3012	
02MBAF04**	56:16	Module 5	4	2.2	0	97	6	5122	196	2076	1705	2472	
02MBAF05**	74:44	Module 5	4	2.0	0	93	7	6060	114	2140	2399	3685	
02MBAF06**	59:51	Module 3	3	1.7	0	97	7	3952	51	704	706	970	
02MBAF07**	65:57	Module 4	4	2.0	0	93	12	11528	196	3436	1583	2383	
02MBAF08**	57:00	Mastery Tests	3	1.7	0	92	5	9440	23	1558	1119	2636	
02MBAF09**	53:10	Module 5	5	2.5	0	93	1	1577	315	218	1947	4419	
Average:			4	1.8	0	93	5.9	6157	166	1554	1472	2562	

生徒の追加

「追加」ボタンをクリックすると以下のようなダイアログボックスが表示されます。追加する生徒に関する情報を入力してください。

生徒のインフォメーション

生徒名
John

パスワード
[]

パスワードの確認
[]

生徒のEメール
john@

☐ 生徒の有効期限

☒ サポート言語英語

☒ Tutorを表示する

☐ この生徒をコース使用不可にする

☐ 自宅学習を不可にする

この生徒に対してレッスンをロック / ロック解除する

- Module 1
 - Names & Places
 - Jobs & Family
 - Numbers & Time
 - Review Exercises
 - Video Interactions
 - Extension Activities
- Module 2
 - Family Schedule
 - Presentations & Questions
 - Focus Exercises
 - Mastery Test
 - Matrix Vocabulary
 - Likes & Dislikes
 - Review Exercises
 - Video Interactions

ロック解除 学習不可のレッスン (はStudy Path Managerでロック解除されません。)

ロック

学習不可

OK 取消

- **生徒名**：生徒名、もしくはID番号を入力。クラスに同姓同名の生徒がいる場合、コンピュータには同じ名前で登録しないでください。
- **パスワード／パスワードの確認**：生徒のパスワードです。クラスをセットアップする際パスワード機能が承認された場合にのみパスワードが入力できます。「[クラスの追加、編集](#)」の項をご参照ください。生徒が学習開始時に自分でパスワードを決定、入力する場合は、ブランクのままにしてください。その際、生徒の編集が可能か確認してください。教師がパスワードを入力する場合、正しいパスワードか確認する為に「パスワードの確認」の欄にもう一度入力します。

注：パスワードの機能を変更したい場合、クラス選択のスクリーンに戻りパスワードオプションを確認してください。承認したい場合はチェックマークを付けしないでください。

- **生徒のEメール**：生徒のEメールアドレスを入力してください。教師がロック解除コードを生徒に送信することができます。
- **生徒に対してレッスンを学習不可／ロック／ロック解除する**：特定の生徒に対してレッスン、及びテストを学習不可、ロック、ロック解除します。こうすることで、教師は生徒の能力に合った学習経路を設定することができます。クラス全員、又は複数の生徒に対してこの機能を使う場合、詳細は「[生徒のデータと学習経路の編集](#)」の項をご参照ください。

＊ **学習不可**：Study Path Manager がレッスンをロック解除することはありません。

＊ **ロック**：一定の条件を満たした場合 Study Path Manager がレッスンをロック解除します。

＊ **ロック解除**：レッスンをロック解除します。

レッスンはリストで表示され、Windows の場合はプラス印、Macintosh の場合は矢印をクリックすると、より詳細な項目が表示されます。ロック、又はロック解除する項目を選ぶ時は、クリックしてハイライトさせてください。連続した二つ以上の項目を選ぶ時は、シフトキーを押しながら最初の項目と最後の項目をクリックしてください。連続していない二つ以上の項目を選ぶ時は、コントロールキー（Windows）かコマンドキー（Macintosh）を押しながらそれぞれの項目をクリックしてください。

ハイライトされている項目はそれぞれのボタンをクリックした時にロック、又はロック解除されます。その際、項目の頭にプラス印（Windows）又は矢印（Macintosh）が付いている場合は注意してください。その項目は更に詳細な項目に分かれているので、印の付いている項目をハイライトし、ロック又はロック解除すると、画面に表示されていない詳細な項目もロック又はロック解除されます。

- **クラスリストにある生徒の有効期限を設定、又はコース使用不可にする**：このオプションを使うと生徒毎に学習有効期限を設定することができ、生徒は設定した日以降は学習ができなくなります（オンライン版のみ）。又「この生徒をコース使用不可にする」のボックスにチェックマークをつけると、クラスリストに名前は残ったまま、その生徒は学習不可能になります。有効期限切れの生徒や、学習不可の生徒はクラスリストに名前が残っていても料金を請求されることはありません。
- **自宅学習を不可にする（オンライン版）**：このオプションを使うと、その生徒は自宅学習ができなくなります。

生徒の移動

レコードマネージャーを使うと、生徒と学習記録を他のクラスに移動することができます。まず、レコードマネージャー アプリケーションを開き、移動したい生徒が在籍しているクラスを選んでください。次に移動したい生徒名をハイライトします（一人もしくは複数）。オプションメニューに行き「生徒を移動する」を開き、生徒の移動後のクラスを選んでください。ダイアログボックスが表示されたら、移動後のクラス名が正しいかどうかを確認し、正しいければ「OK」をクリックしてください。このオプションを使用する際、両方のクラスにパスワードが必要となります。

生徒名の削除

生徒をクラス名簿から削除するときは、生徒名をハイライトして「削除」ボタンをクリックしてください。その生徒に関する学習記録も全て消去されます。

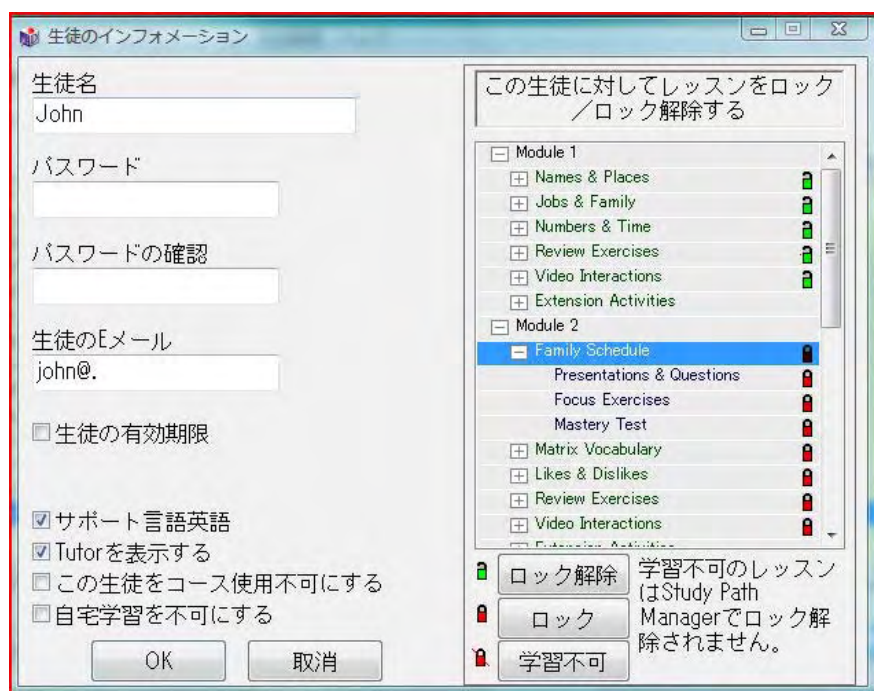
架空生徒名でクラス名簿を作成（オンライン版）

この機能は教師がクラス名簿を作成する際、事前にセットアップできます。各生徒（又は教師）はアルファベット 8 文字のコードを使ってログインし、それぞれの生徒がコードを自分の名前、又は ID 番号に変更し、他の情報を入力します。一度に 30 人の生徒の名簿が作成でき、1 クラス最高 1000 人のクラス名簿が作成可能です。

この機能にアクセスするには、インターネットレコードマネージャーを使い、オプションメニューの「架空生徒名でクラス名簿を作成する...」を選択してください。

生徒のデータと学習経路の編集

生徒に関するデータ（パスワード、Eメールアドレス、レッスンやテストのロック、ロック解除等）の編集をする場合は、クラスリストを開きリストから生徒を一人もしくは複数選び（ハイライトし）、「編集」ボタンをクリックしてください。一人だけを編集する場合は、「生徒の追加」の項と同じようにいくつかの機能を編集することができます。複数の生徒を選んだ時は「生徒に対してレッスンをロック／ロック解除する」の機能だけ編集可能です。



複数の生徒の編集機能は、一度にクラス全員のレッスンをロック、またはロック解除する時便利です。クラス全員を選ぶ時は、プルダウンの編集メニューから「全てを選択」を選んで全員をハイライトし、スクリーン下部の「編集」ボタンをクリックしてください。クラス全員に対して特定のレッスン、もしくはマスタリーテストをロック、又はロック解除できます。

テストとレッスンのロック及びロック解除

編集したい生徒を選択（ハイライト）し、「編集」をクリックします。次にロック／ロック解除したいレッスン、もしくはテストを選択し画面下部のいずれかのボタンをクリックします。最後に「OK」をクリックしてください。

＊**ロック解除**：レッスンをロック解除します。

＊**ロック**：レッスンをロックします。但し、一定の条件を満たした場合 Study Path Manager がレッスンをロック解除します。

＊**学習不可**：Study Path Manager がレッスンをロック解除することはありません。

レッスンもしくはマスタリーテストが次に自動ロック解除されるのはいつかを確認するには以下を実行してください。

＊生徒一人を選択し Tutor ボタンをクリックする

＊More Detail ボタンをクリックし表示されたダイアログボックスをスクロールダウンする

Study Path Manager がオンになっている場合、次のようなメッセージが表示されることがあります。

＊「Module 6 > Life Experience」のマスタリーテストのスコア 65 点が 85 点以上でないと、Study Path Manager は「Module 7 > Epidemic」のレッスンをロック解除しません。

クラス名簿の印刷

各生徒の総学習時間と学習回数が記載されたクラス名簿を印刷する時は、ファイルメニューから「印刷」を選んでください。特定の生徒だけを印刷する場合は、その生徒をハイライトしてからファイルメニューの「印刷」を選んでください。その時、クラス全員を印刷するのか特定の生徒だけを印刷するのか確認のメッセージが出ます。

学習記録

レコードマネージャーを使うと、教師はクラス全員の学習記録を一つのスクリーンで確認することができます。コース全体の学習記録が最初に表示されるよう設定されているので、ユニット又はレッスン及びマスタリーテストに関する記録を見たい場合は、「コースの詳細」に行ってください。同じクラスで他のコースの学習記録を確認したい時は、コース名のポップアップメニューを使いコースを選んで下さい。コースの選び方に関しては「[コースの選択](#)」の項をご参照ください。

Student Name	Time	Module	M	PL	Days	Tests	SS	Rep	ABC	Tra	Mic	SR-C	SR-A
02MBAF01**	52:31	Module 5	5	1.5	0	96	5	3154	197		1110	1476	2660
02MBAF02**	54:04	Module 2	3	2.5	1	97	5	11465	73		369	1294	2144
02MBAF03**	61:32	Module 5	5	2.0	3	98	7	8371	307		1474	1745	3012
02MBAF04**	56:16	Module 5	4	2.2	0	97	6	5122	196		2076	1705	2472
02MBAF05**	74:44	Module 5	4	2.0	0	93	7	6060	114		2140	2399	3685
02MBAF06**	59:51	Module 3	3	1.7	0	97	7	3952	51		704	706	970
02MBAF07**	65:57	Module 4	4	2.0	0	93	12	11528	196		3436	1583	2383
02MBAF08**	57:00	Mastery Tests	3	1.7	0	92	5	9440	23		1558	1119	2636
02MBAF09**	53:10	Module 5	5	2.5	0	93	1	1577	315		218	1947	4419
Average:			57:33	4	1.8	0	93	59	6157	166	1554	1472	2562

Buttons: 戻る, Tutor, 削除, 編集, 追加, 選択

分類: 学習者名

プレースメントテストの記録を見たい時は、コース名が表示されている欄のポップアップメニューからプレースメントテストを選び、確認したいプレースメントテストを選んでください。

各コースの学習記録の表示

コース、ユニット、レッスンの学習記録は以下に挙げた分類別に表示することができます。英語で書かれた分類のボタンをクリックしてください。例えば、総学習時間が多い順に表示したい時は、「Time」をクリックしてください。画面、下部の「Tutor」ボタンをクリックすると、各生徒及び各クラスの学習に対するアドバイスが表示されます。詳細は「[Intelligent Tutor](#)」をご参照ください。

各コースの学習記録は、以下のような分類に表示されます。

- **Student Name** : 学習者名。生徒の名前がアルファベット順、又は番号順に表示されます。
- **Time** : 総学習時間。 ユニット、又はレッスンに費やした総学習時間が表示されます。
- **Module / Last Date** : 使用中モジュール／最終学習日。 コース全体の学習記録の場合、現在生徒が学習しているコースの、モジュール番号が表示され、ユニット、レッスン、マスタリーテストの学習記録の場合は、最後に学習した日付が表示されます。
- **M/S** : 学習したモジュールの総数／学習したセッションの数。コース全体の学習記録の場合、学習したモジュールの数が表示され (M) ユニット、レッスンの学習記録の場合は、学習したセッションの数が表示されます (S)。
- **Complete** : 生徒がレッスンをどのくらい効果的に学習したかを示す学習進度 (平均) が表示されます。但し、コース全体の学習記録、もしくはバージョン 3.0 以前のコースウェアの場合は表示されません。 詳細は「[学習進度](#)」をご参照ください。

- **Rank** : クラスランク。ユニット、又はレッスンの学習進度（平均）に基づいてクラスランクが表示されます。一番上のランクの生徒を100%とし他の生徒はこれによって換算されます。但し、コースの学習記録、もしくはバージョン3.0以前のコースウェアの場合は表示されません。
- **Tests** : コース全体の記録には、各レッスンのマスタリーテストの得点の平均が表示され、特定のレッスンの記録には最後に受けたマスタリーテストの得点が表示されます。

分類が表示されている欄の右端の矢印（Windows）か、ボックスの下部の矢印（Macintosh）を使うと以下の記録が表示されます。これらの記録から、生徒が学習時間を効果的に使っているかどうか分かります。又、教師はこれらの記録をもとに学習に関する指導をすることができます。

- **Rep** : 繰り返しボタンの使用回数
- **ABC** : ABC ボタンの使用回数
- **Tra** : 翻訳ボタンの使用回数
- **Mic** : 音声録音ボタンの使用回数
- **Head** : 音声再生ボタンの使用回数
- **Glos** : 用語表の使用回数
- **SR-C** : 音声認識機能を使った問題で一回目に正解認識された数
- **SR-A** : 音声認識機能の使用回数

コースの選択

レコードマネージャーの新しいバージョンでは、ポップアップメニューを使ってコースの選択が簡単にできるようになりました。コース名の横の数はそのコースを学習した生徒の数です。



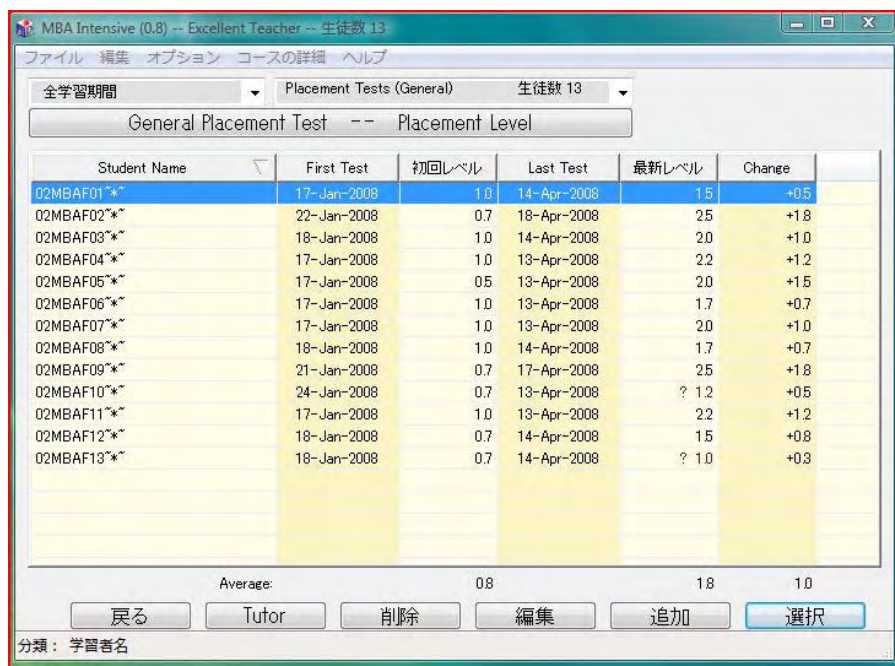
レコードマネージャーの登録、もしくはライセンス契約がなされていないコースは「**」マークが表示されます。

選択したコースをまだ学習していない場合は、それぞれの項目にハイフオンが表示されます。

プレースメントテストの記録の表示

ポップアップメニューからプレースメントテストを選ぶと下記のボックスが表示され、画面にプレースメントテストの種類（一般、もしくは子供用）、プレースメントレベル（パート1とパート2の総合得点から換算）及びパート1、もしくはパート2の得点が表示されます。

通常、最初にパート1のテストを受けその結果、レベルが十分に達していればパート2を受けます。テストを両方一度に受ける場合、かなりの集中力が必要なので、パート1とパート2の間に少なくとも五分の休憩をとることをお勧めします。プレースメントテストに関する詳細は「プレースメントテスト教師用ガイド」をご参照ください。



Student Name	First Test	初回レベル	Last Test	最新レベル	Change
02MBAF01**	17-Jan-2008	1.0	14-Apr-2008	1.5	+0.5
02MBAF02**	22-Jan-2008	0.7	18-Apr-2008	2.5	+1.8
02MBAF03**	18-Jan-2008	1.0	14-Apr-2008	2.0	+1.0
02MBAF04**	17-Jan-2008	1.0	13-Apr-2008	2.2	+1.2
02MBAF05**	17-Jan-2008	0.5	13-Apr-2008	2.0	+1.5
02MBAF06**	17-Jan-2008	1.0	13-Apr-2008	1.7	+0.7
02MBAF07**	17-Jan-2008	1.0	13-Apr-2008	2.0	+1.0
02MBAF08**	18-Jan-2008	1.0	14-Apr-2008	1.7	+0.7
02MBAF09**	21-Jan-2008	0.7	17-Apr-2008	2.5	+1.8
02MBAF10**	24-Jan-2008	0.7	13-Apr-2008	? 1.2	+0.5
02MBAF11**	17-Jan-2008	1.0	13-Apr-2008	2.2	+1.2
02MBAF12**	18-Jan-2008	0.7	14-Apr-2008	1.5	+0.8
02MBAF13**	18-Jan-2008	0.7	14-Apr-2008	? 1.0	+0.3

Average: 0.8 1.8 1.0

戻る Tutor 削除 編集 追加 選択

分類: 学習者名

プレースメントテストでは、以下のような分類に表示されます。

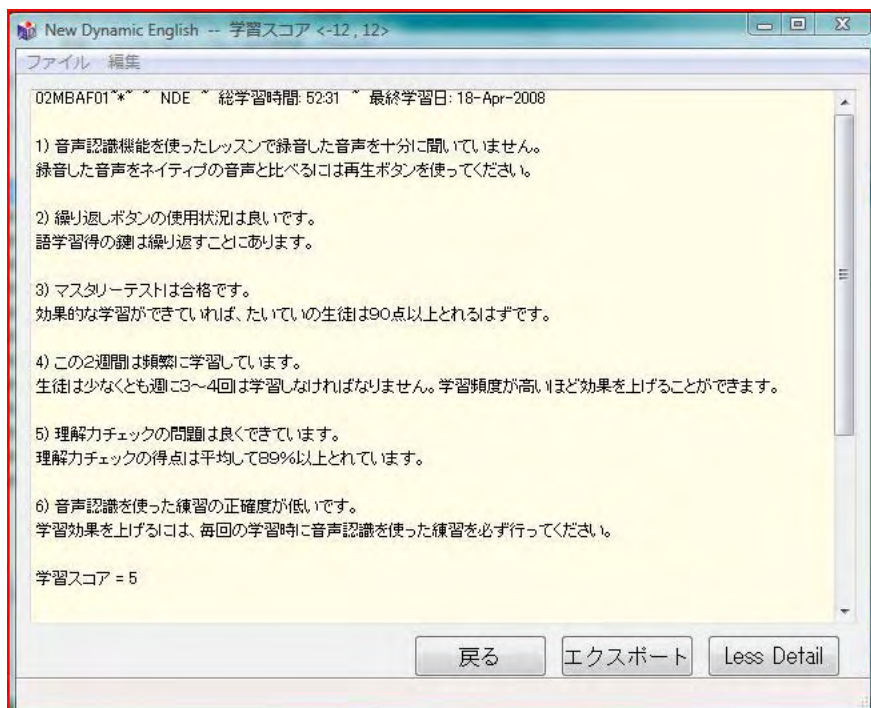
- **Student Name** : 生徒の名前がアルファベット順、もしくは番号順に表示されます。
- **First Test** : 最初に受けたプレースメントテストの日付順に表示されます。
- **Level/Score** : 最初に受けたプレースメントテストの得点により決定されたレベル、もしくはパート1かパート2のテストの得点順に表示されます。
- **Last Test** : 最後に受けたプレースメントテストの日付け順に表示されます。
- **Level/Score** : 最後に受けたプレースメントテストの得点により決定されたレベル、もしくはパート1かパート2のテストの得点順に表示されます。
- **Change** : 最初に受けたプレースメントテストのレベルもしくは得点と、最後に受けたプレースメントテストのレベルもしくは得点の差が多い順に表示されます。高いレベルの場合最初と最後のプレースメントレベルの差を出すには、学習時間がかかりかかります。短期間の学習成果をチェックする場合は、マスタリーテストをご利用ください。

注：画面下部の「Tutor」ボタンをクリックすると、プレースメントに関する各生徒とクラスの情報が表示されます。詳細は「Intelligent Tutor」をご参照ください。

Intelligent Tutor

この機能は、各生徒の学習パターンを把握し、更に効果をあげる学習方法をアドバイスします。実際にダイナミックコースウェアを使用している世界各国の生徒の学習データを分析し、効果的な学習方法が割り出されました。例えば、リスニング能力を向上させる必要がある生徒がテキスト表示ボタンを何回も使用している場合、「Too much Text button compared to Repeat button.」というようなアドバイスが表示されます。

Tutor ボタンをクリックすると下記のようなスクリーンが表示されます。



- エクスポートボタンをクリックすると、ダイアログボックスに表示されたメッセージのテキストファイルが作成されます。
- More Detail ボタンをクリックすると、生徒の学習に対するより詳細なアドバイスが表示されます。

例えば「Study too infrequent」というコメントが表示された場合、詳細スクリーンでは次のようなアドバイスが表示されます。

「Students should study at least 3-4 times per week. Frequent Study sessions are most effective.」

Tutor メッセージが表示されているダイアログボックスをスクロールダウンすると追加のコメントが表示され、それによってマスタリーテストやレッスンが次に自動ロック解除されるのはいつかが分かります。注：追加のコメントは、Tutor ボタンをクリックする際生徒一人を選択した時にのみ表示されます。Study Path Manager がオンになっている時にのみ表示されるコメントもあります。

例：「Module 6 > Life Experience」のマスタリーテストのスコア 65 点が 85 点以上でないと、Study Path Manager は「Module 7: Epidemic」をロック解除しません。

例：教師が学習不可にした為に「Module 3: Our World」のマスタリーテストは自動ロック解除されません。

このコメントを参考に教師は各生徒に的確なアドバイスを与え、それにより生徒はより効果的な学習をすることができ、学習意欲も湧いてきます。Tutor 機能を利用し、教師がクラスでどのような指導をしているかを把握したり、教授法のトレーニングが必要か否かを管理者が知ることもできます。

Intelligent Tutor が新しくスコア機能を搭載しました。学習スコア（SS）は生徒の学習状況を分析し数値化したもので、学習頻度、学習アクティビティ、テストスコア、各ボタンの使用状況などを基に割り出されます。例えば、テキスト表示ボタンを使い過ぎるとリスニング力向上の妨げになり、学習スコアに影響します。詳細は「Intelligent Tutor ガイド」をご覧ください。最新のマニュアルは DynEd のウェブサイトをご覧ください。

各生徒の学習記録の表示（レッスン順）

表示された生徒の名前をダブルクリックするか、ハイライトして「選択」をクリックするとその生徒の学習記録の詳細が表示されます。

レッスン名	時間	進捗	得点	正解	レベル	メモ
Module 1	00:14	[1%]				
Module 2	18:27	[99%]				
Family Schedule	05:31	(100%)				
Matrix Vocabulary	04:04	(96%)				
Likes & Dislikes	03:24	(99%)				
Review Exercises	04:32	(100%)				
Video Interactions	00:56	(100%)				
Scenes & Interactions	00:56	107%				
Telephone: Let's Meet on ...						
28-Feb-2008 14:53	00:03	11%		4/4		
28-Feb-2008 14:40	00:04	8%		4/4		
16-Feb-2008 16:00	00:05	9%		4/4		
16-Feb-2008 15:28	00:09	11%				
Business Telephone						
28-Feb-2008 14:43	00:03	7%		4/7		
16-Feb-2008 15:58	00:03	5%		2/2		
16-Feb-2008 15:36	00:08	12%		6/7		
An Interview						
28-Feb-2008 14:46	00:02	5%		3/3		
16-Feb-2008 15:55	00:03	6%		6/6		

記録はレベル、またはモジュール別に表示されます。それぞれの項目に付いているプラス印（Windows）か矢印（Macintosh）をクリックすると、より詳細な項目が表示され、最も詳細な記録として学習日時が表示されます。「Ctrl キー」（Windows）か「Option キー」（Mac）を押しながらプラス印か矢印をクリックすると最も詳細な項目までを一度に表示することができます。

各生徒の学習記録では、以下のような分類に表示されます。

- **時間**：表示されているそれぞれの項目に関する総学習時間。詳細な項目に表示された学習時間の合計がモジュール、ユニット、レッスンの学習時間の合計になります。
- **進捗**：パーセンテージで表示された学習進捗。これによって生徒がどのくらい効果的に学習したかがわかります。学習進捗に関する詳細は付録C「[学習進捗](#)」をご覧ください。

レッスンの欄に表示されたパーセンテージは各セッションのパーセンテージの合計です。幾つかのレッスンで構成されたユニット、またはモジュールの欄のカッコ内に表示されたパーセンテージは、それぞれのレッスンの長さや内容を加味して計算された平均値です。

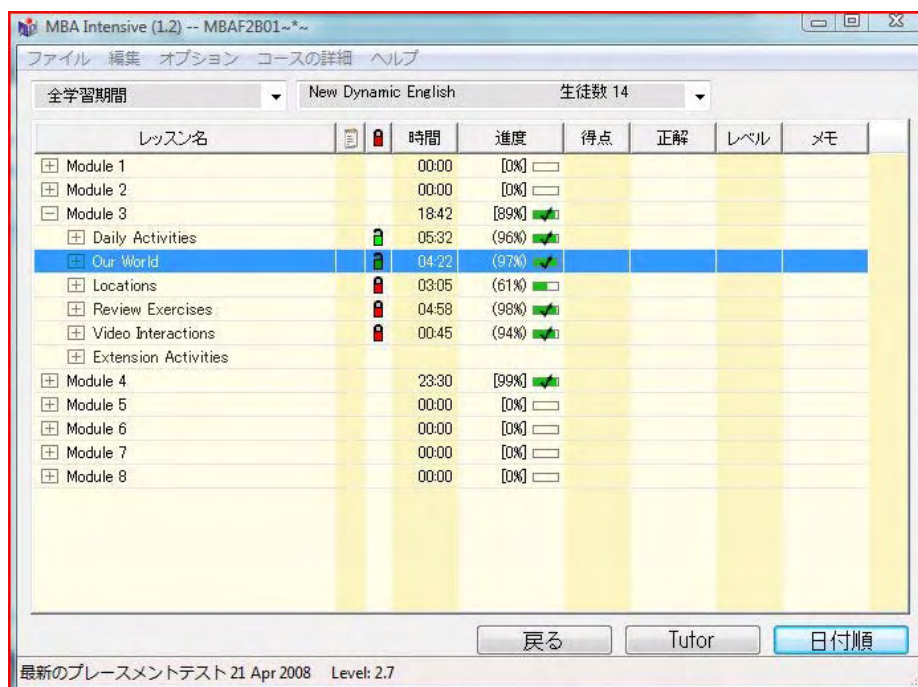
注：時間と進捗を比較すると生徒がどのくらい効果的に学習したかが分かります。進捗は学習時間を考慮しないで学習内容によって換算されたものです。学習時間が同じでも進捗のパーセンテージが低い場合は、効果的な学習をしていないことを示します。より効果的な学習の仕方を生徒に教えるにはそれぞれのコースの教師用ガイドをご参照ください。

- **学習日時**：学習記録の最も詳細な記録として、学習した日付と学習開始時間が表示されます。

- **得点**：2種類の数字が表示されます。得点の欄の最初に表示された数字は、レッスンの中の質問に答えることによって獲得した得点、もしくはパーセンテージです。ハイフオンが表示されている場合は得点に結び付かないレッスンです。レッスンによって最高得点が100以上の場合とそうでない場合があります。但し、マスタリーテストに関しては最高得点が100となります（テストに関する詳細は、「テスト及び評価に関するガイド」をご覧ください）。次に表示された得点は、レッスンの中の回答数と正解数です。スコアの欄に150と15／18が表示されている場合は、18問答えて15問が正解、得点は150です。
- **レベル**：各セッションの学習終了時のシャフラーレベルを表わします。シャフラーレベルはダイネード独自の方法でセッション毎に計算され、レッスンの難易度を自動的に調整します。シャフラーレベルが高くなるとレッスンの学習内容も難しくなります。シャフラーレベルと難易度の関係はレッスンにより異なり、又シャフラーレベルは学習進度を決定する際に影響します。シャフラーレベルに関する詳細は、付録C「[シャフラーレベル](#)」をご覧ください。

レッスンのロックとロック解除

学習記録が表示された時、赤のロックがついているレッスンは、生徒がアクセスすることができず学習不可能です。緑のロックがついているレッスンはアクセスでき学習可能です。



レッスンのロック、又はロック解除は、レコードマネージャーを使用して行います。上記のダイアログボックスの「戻る」ボタンをクリックして、クラスリストに行ってください。生徒を選択し、「編集」ボタンをクリックするとダイアログボックスが表示されます。ロック、又はロック解除したいレッスンを選び、それぞれのボタンをクリックしてください。この機能に関する詳細は「[生徒のデータと学習経路の編集](#)」の項をご参照ください。

各生徒の学習記録の表示（日付け順）

上記のダイアログボックスの「日付け順」ボタンをクリックすると、レッスンを学習した日時と学習時間が表示されます。また、その日の総学習時間も表示されます。

学習記録の印刷

学習記録を印刷する場合、印刷したい記録がコンピュータの画面に表示されているかを確認してください。プラス印（Windows）か矢印（Macintosh）をクリックすることでより詳細な項目を表示したり、逆に閉じたりできます。コントロールキー（Win）かオプションキー（Mac）を押しながらプラス印、もしくは矢印をクリックするとそのユニット又はレッスンに含まれる全ての項目が一度に表示されます。セットアップが完了したらファイルメニューに行き「印刷」を選んでください。表示されたボックスの項目を確認し「OK」をクリックしてください。

インターネットレコードマネージャーの学習記録をオフラインで表示（オンライン版）

この機能を使うとインターネットに接続しなくても学習記録を確認することができます。この機能は、インターネット接続ができない時や接続が遅い時は便利です。この機能を使用している時は、学習記録を確認することはできますが編集はできません。学習記録のシンクロは、後でインターネットに接続した時に手動で行っていただくか自動的に行われます。詳しくは後述の「ローカル学習記録をインターネット学習記録に自動シンクロ」をご覧ください。

全ての学習記録をシンクロ（オンライン版）

この機能を使うと、オフラインで学習した生徒の学習記録をシンクロすることが可能です。何らかの理由で生徒がインターネットに接続できない場合、最高2週間の間に同一のコンピュータ、又はネットワークで学習した全ての生徒の学習記録を管理者が一度にシンクロすることができます。

この機能にアクセスするには、インターネットレコードマネージャーを使い、オプションメニューの「全ての学習記録をシンクロする…」を選んでください。

ローカル学習記録をインターネット学習記録に自動シンクロ

この設定をすると、ローカル（オフライン）学習記録とインターネット学習記録を自動的にシンクロすることができます。この機能は、インターネット接続ができない時や接続が遅い時は便利です。生徒はオフラインで学習でき、ローカル学習記録はシンクロ機能を使って毎夜シンクロされます。この機能に関する詳細は japan@dyned.com にご連絡ください。

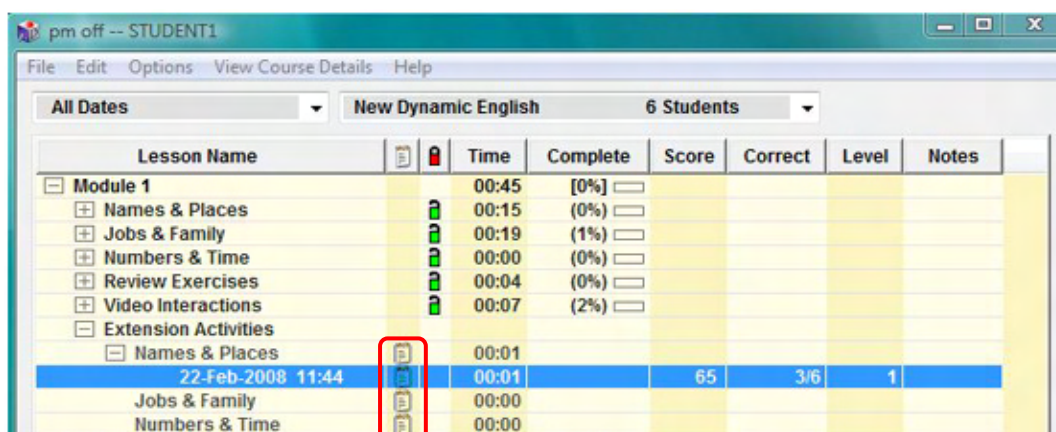
検索（オンライン版）

この機能を使うと生徒名、クラス名、又はEメールアドレスを入力して、その生徒がどのグループ又はサブグループに登録されているかを検索することができます。

Extension Activities (Video available on DynEd's website)

この機能は、教師／指導者に授業内容の提案（セッションプラン）をします。プランには生徒に与える課題、アクティビティー、ワークシート、Teacher Guidesが含まれます。Teacher Guidesからは、教師用ガイドの学習しているセクションに簡単にアクセスできます。

Extension Activitiesには生徒の学習記録画面の日付順表示、およびレッスン順表示から簡単にアクセスできます。まずクラスを選択し、次に生徒を選択します。日付順表示からは、アクセスしたいレッスン名の欄にある Extension Activities アイコン（メモ帳マーク）をダブルクリックします。レッスン順表示からは、アクセスしたいモジュール／ユニットを開き Extension Activities を開き、レッスン名の横のアイコン（メモ帳マーク）をダブルクリックします。セッション終了時には「終了」をクリックし得点を入力してください。得点は学習記録に反映されます。



Lesson Name	Time	Complete	Score	Correct	Level	Notes
Module 1	00:45	[0%]				
Names & Places	00:15	(0%)				
Jobs & Family	00:19	(1%)				
Numbers & Time	00:00	(0%)				
Review Exercises	00:04	(0%)				
Video Interactions	00:07	(2%)				
Extension Activities						
Names & Places	00:01					
22-Feb-2008 11:44	00:01		65	3/6	1	
Jobs & Family	00:00					
Numbers & Time	00:00					

レッスン名の欄にアイコン（メモ帳マーク）が表示されているということは、そのレッスンに関する Extension Activities があることを示します。アイコンをダブルクリックすると、ウィンドウが表示されます（インターネット接続要）。各レッスンの Extension Activities は複数セッションにわかれています。

各セッションは「Session Plan」「Tasks and Activities」「Worksheets」「Teacher Guides」の4つのタブに分かれています。



- **Session Plan:**ここでは各セッションでどのようなアクティビティーをするか提案します。教師はそのセッションで行ったアクティビティーにチェックマークをつけてください。各セッションについているタイマーで学習時間を把握できます。また、タイマーは教師が費やした時間を把握できるので、時給の支払いをする際には便利です。
- **Tasks and Activities:**この欄では、そのセッションで行う課題とアクティビティーの詳細が記載されています。教師はコースウェアで学習した内容を学習者の実生活に応用して述べるよう指示してください。アクティビティーには自己紹介、質疑応答、数などが含まれます。このセクションは、記載されているアクティビティーを15～20分で完了するといいいでしょう。
- **Worksheets:**このタブをクリックすると、今学習しているレッスンのワークシートに簡単にアクセスできます。ワークシートは画面上で、もしくは印刷をして生徒のライティング練習に活用できます。コントロールボタンを押したままでレッスン名をクリックするとワークシートをダウンロードできるインターネットアドレスが表示されます。

- **Teacher Guides:** 各レッスンのオンライン教師用ガイドにアクセスできます。ガイドには重要な学習事項やレッスンの概要が記載されています。この欄を利用すると教師の時間の節約になります。セッションが終了し、「進捗」をクリックすると生徒の得点を記入するウィンドウが表示されます。1-100の間の得点を入力して「OK」をクリックしてください。

Extension Activities の記録確認

セッションの結果を日付順に確認したい時は、学習記録のウィンドウの「日付順」ボタンをクリックしてください。各セッションの最新の記録が表示されます。

レッスン毎にセッションの結果を確認したい時は、学習記録のウィンドウの「レッスン順」ボタンをクリックしてください。モジュール／ユニットを開け「Extension Activities」をクリックすると、各セッションの最新の記録が表示されます。

Follow-Up Sessions:

既に学習したセッションを再度学習したい時は、日付順の画面を表示し、学習したい欄の Extension Activities アイコンをダブルクリックしてください。前回のセッションの得点が高い場合は、Extension Activities にアクセスした時に次のセッションが自動的に表示されます。前回のセッションの得点が低い場合は、同じセッションが表示されます。

学習スコア（SS）と学習スコア加重平均（WSS）

生徒リスト

- 学習スコア（SS）は特定のコースのスコアです。学習スコア（SS）は生徒の学習状況进行分析し数値化したもので、学習頻度、学習アクティビティー、テストスコア、各ボタンの使用状況などを基に割り出されます。例えば、テキスト表示ボタンを使い過ぎるとリスニング力向上の妨げになり、学習スコアに影響します。

* 教師と生徒は Tutor ボタンを使って学習スコアを確認することができます。

* ゼロ以上のスコアは黒字で表示され、負の数のスコアは赤字で表示されます。

Student Name	Time	Module	M	PL	Days	Tests	SS
02MBAF01**	52:31	Module 5	1.5	0	-	7	
02MBAF02**	54:04	Module 2	2.5	0	-	5	

- 学習スコア加重平均（WSS）は学習した全コースの学習スコアの加重平均です。加重平均とは学習した各コースの学習時間を考慮に入れて割り出した平均値です。

クラス名	教師名	生徒	アクセス最終日	WSS
1 Miscellaneous Adult	Mixed Teachers	12	17-Mar-2003	2.0
2 Miscellaneous Poor	Untrained Teacher	10	20-Aug-2004	-4.9
China University (0.8)	Student Teachers	10	22-Jun-2004	1.8

条件を満たしている生徒：

- * 最近の30日間に学習した
- * 削除、無効、もしくは学習不可にされていない
- * Tutor メッセージを少なくとも1つ受け取った
- * リストの上部に黒で表示されている

条件を満たしていない生徒：

- * リストの下部にグレーで表示されている

クラスリスト

このリストに表示される学習スコア加重平均（WSS）は、クラスの中で条件を満たしている生徒におけるものです。

条件を満たしているクラス：

- * 条件を満たしている生徒がクラスに5人以上在籍する（デフォルトは5人に設定されていますが人数は変更可能です。）

条件を満たしていないクラス：

- * リストの下部にグレーで表示されている

グループリスト（Internet Records のみ）

このリストに表示される学習スコア加重平均（WSS）は、グループの中で条件を満たしているクラスにおけるものです。

インポートとエクスポート

インポートとエクスポートの機能はデータを管理、分析するのに便利です。これらの機能を使用する時は、コンピュータ画面上部、プルダウンメニューの「ファイル」に行ってください。

生徒名をインポートする

レコードマネージャー以外のファイルにある生徒のリスト及び情報をインポートできます。同じリストを違う目的で使う場合、教師は生徒名を再度入力する必要がなくなります。又、タブを使用して入力された E メールアドレスも同時にインポートすることができます。E メールアドレスを入力する際、**name <TAB> e-mail address <TAB> password** のフォーマットで入力してください。

生徒名をエクスポートする

この機能を使うと、名前のリストと E メールアドレスをクラスリストから他のファイルにエクスポートし、ワードプロセッサアプリケーションで 사용할 ことができます。

生徒のデータをエクスポートする

学習記録はレコードマネージャーから他のシステムに、容易にエクスポートすることができます。エクスポートされた情報は使用目的により使い分けることができます。但し、ダイナエドは情報が特定の目的に適合するかどうかは保証しません。又情報を使用する場合、サポートもできかねます。エクスポートされた情報は時々変更されることがありますが、通常、変更事項は限られており、記録の最後に新しい分野の情報を付け加えるだけです。

学習記録から生徒の全データをテキストファイルにエクスポートする場合、クラスリストからエクスポートしたい生徒一人もしくは数名をハイライトし、ファイルメニューに行き「生徒のデータをエクスポートする」を選択してください。ダイアログボックスが表示されます。新しく作成したいエクスポートファイルの名前と場所を決めてください。

レコードマネージャーは学習記録を Tab-delimited フォーマット (TAB ボタンを使って各記録を分離できるような形式) でエクスポートします。こうすることで学習記録は「Microsoft Excel」や「File Maker Pro」等のようなスプレッドシートやデータベースに容易にインポートされます。

学習記録をエクスポートする際、実際には学習記録として表示されない多量のデータ (付録 D に記載されているデータ) が一緒にエクスポートされるので、エクスポートされた学習記録のデータをそのまま読み取ることは容易ではありません。学習記録として表示されないデータに関する情報は、付録 D をご覧ください。

このスクリーンをエクスポートする

生徒の全データではなく特定のデータをエクスポートする場合は、このオプションを使ってください。「コースの詳細」に行き、エクスポートしたいモジュール、ユニット、レッスン又はマスタリーテストを選んでください。データが画面に表示されたら、プルダウンメニューの「ファイル」に行き「このスクリーンをエクスポートする」を選んでください。

学習記録として表示されない多量のデータに関する詳細は、付録 D をご参照ください。これらのデータから、生徒がコースウェアの機能を十分に活用しているかどうか把握できます。

管理者オプション

管理者オプションを使う時は、コンピュータ画面上部、プルダウンメニューの「オプション」に行ってください。

管理者オプションには更にいくつかのオプションがあります。これらのオプションはコースや学習記録を他のシステムに統合したり管理する場合に便利です。又、遠隔授業の学習状況を把握したり、システムに適合するビデオ圧縮フォーマットを選ぶこともできます。

レコードマネージャー オプション

このオプションでは二つのことが可能です。最初の項目にチェックマークを付けると、クラスを追加する時に管理者パスワードが必要になります。二つ目の項目にチェックマークを付けると全てのEメールオプションを使用不可にします。

一定期間の学習記録を表示

管理者はこのオプションを使うと一定期間の学習記録だけを表示することができます。ただし、ネットワークインストレーションの場合にこのオプションを使うと、レコードマネージャーを使っている教師全員に影響します。スタンドアローンインストレーションの場合はこのオプションを設定したコンピュータにのみ有効です。

インストールした全てのコースに関して一定期間の学習記録を表示する場合は、リストから「All Courses」を選択してください。



コースを学習している生徒の確認

このオプションを使うと実際には学習していない生徒をリストから消去し、新しい生徒をログインすることができます。ダイアログボックスの生徒名のリストに「not active」と書かれた生徒がいたら「リセット」ボタンをクリックしてください。学習していない生徒名は消去されます。

管理者パスワードの変更

このオプションを使うと、レコードマネージャーや学習記録へのアクセスをコントロールする管理者パスワードを変更することができます。管理者パスワードを失くしたり忘れてしまった場合は、ダインエドインストール用ディスクでセットアッププログラムが起動している時に「アドバンスト インストール オプション」を使って設定してください。

学習記録のバックアップ

このオプションでは、管理者が全クラスの学習記録を保存している DynEd データフォルダのバックアップをとることができます。バックアップデータは「DynEd/Backups/(today's date)」のデータフォルダに保存されます。

バックアップデータの通知（ローカル版）

レコードマネージャーの初回起動時に、学習記録のバックアップデータをとるよう通知するかどうかされます。通常、2週間毎に通知をするよう設定されていますが、通知の期間は変更可能です。

製品のアップデート（ローカル版）

このオプションを使うとインストールされている全ての DynEd の製品をアップデートすることができます。アップデートする際、レコードマネージャーは自動的に終了しアップデートプログラムが起動します。このオプションはインターネットに接続されていない場合は使用できません。

ビデオ圧縮フォーマットの選択

管理者オプションに含まれるこの機能は、異なるフォーマットで圧縮された幾つかのビデオを使用しているコースのみで利用できるオプションです。この機能を使うことで、それぞれのシステムやネットワーク帯域幅に適した圧縮フォーマットを選ぶことができます。

一般に、圧縮比の高いビデオフォーマットを使う場合、ネットワーク帯域幅をあまり必要としません。同じネットワーク環境でも圧縮比の高いビデオフォーマットを使うことで、より多くの人が同時にビデオ学習付きネットワーク版コースウェアを学習することができます。しかし、質を落とさずに圧縮比の高いビデオを使うには、処理速度の速いクライアント機を使う必要があります。処理速度の遅いクライアント機を使う場合、

ビデオの質を落とさないためには、ネットワーク帯域幅をより多く必要とするのでビデオ圧縮比が低くなければなりません。

注：このオプションは主にネットワーク担当者が使います。

オプションには以下に挙げた項目があります。

- **High Bandwidth** 処理速度の遅いクライアント機
- **Medium Bandwidth** 処理速度の速いクライアント機
- **Low Bandwidth** 処理速度の最も速いクライアント機

High Bandwidth (220KB/sec) : このオプションを使うと、処理速度の遅いクライアント機で良質の画像とオーディオを獲得できます。しかし、帯域幅をより多く必要とするので多数の生徒が同時に学習するには適していません。

Medium Bandwidth (80KB/sec) : High と Low オプションの中間の場合。

Low Bandwidth (40KB/sec) : 処理速度の最も速いクライアント機に適しています。帯域幅をあまり必要としないので、より多くの生徒が同時に学習できます。

データベースをマージする

学校や会社などで幾つかの場所に別れてレコードマネージャーを使用している場合、このオプションを使ってデータを一箇所にまとめることができます。

一つのデータをマージする場合：外部一箇所のデータをセンターのデータにマージするとします。

外部ですることは：

1. ダインエドフォルダのなかのデータフォルダを見つけてください。
2. データフォルダをデスクトップなどの適当な場所にコピーしてください。
3. 「外部データ」のように分かりやすい名前を付けて新しいフォルダを作成してください。
4. ステップ2でコピーしたデータをステップ3で作成したフォルダに移動してください。
5. ジップアップ（圧縮）された「外部データ」のフォルダをEメール、もしくはフロッピーディスクでセンターに送ってください。

センターですることは：

1. レコードマネージャーを開き、プルダウンメニューの「オプション」に行ってください。次に、「管理者オプション」を開いて「データベースをマージする」を選んでください。ブラウザウインドウが表示されます。
2. ブラウザウインドウを使ってマージしたいフォルダを選び、「OK」をクリックしてください。

複数のデータをマージする場合：外部のいくつかの場所に別れた複数のデータベースをセンターにマージすることができます。

1. それぞれの場所は、「外部ですることは」で述べた方法でデータをセンターサイトに送ります。
2. センターサイトは、「MergeDB」という新しいフォルダを作成します。この新しいフォルダの名前は「MergeDB」でなければなりません。この名前（カギカッコは含まれません）を使うことで複数のデータをセンターにマージできるように設定されています。
3. それぞれのサイトから送られたデータフォルダを「MergeDB」フォルダに移動します。
4. レコードマネージャーを開きプルダウンメニューの「オプション」に行ってください。次に、「管理者オプション」を開いて「データベースをマージする」を選んでください。ブラウザウインドウが表示されます。
5. ブラウザウインドウを使って「MergeDB」フォルダを選び、「OK」をクリックしてください。

注：クラス選択のボックスが画面に表示されている時にのみ「データベースをマージする」のオプションを使うことができます。特定のクラスの学習記録が表示されている時はこのオプションは使えません。

複数のデータを自動的にマージする：このオプションを使うと、外部の複数のデータをセンターに定期的にマージすることができます。使用する場合は DynEd International までご連絡ください。

モニターパスワードの設定（オンライン版）

モニターパスワードを使ってレコードマネージャーにアクセスすることが可能になります。同じグループ内でクラス毎のパスワードを使わずに学習記録にアクセスできますが、読み込みだけで変更することはできません。

デモクラスとプレースメントクラスの設定

デモクラスの生徒はどのコースにアクセスすることもできます。このクラスはトレーニングとセールスを目的とするクラスのため、料金は無料です。プレースメントテストクラスの生徒はプレースメントテストのみアクセス可能で、通常のクラスに移動するまで他のコースにアクセスすることはできません。いずれのクラスの生徒もプレースメントテストを受けることができ、通常のクラスに移動しない限り料金は無料です。（注：これらのクラスを設定するには、コントロールキーを押したまま[クラス選択のスクリーン](#)にある編集ボタンをクリックしてください。）

クラスの有効期限を設定（オンライン版）

同じグループの複数のクラスに対し、管理者がクラス毎に有効期限を設定することができます。この設定をするには、コントロールキーを押したまま[クラス選択のスクリーン](#)にある編集ボタンをクリックしてください。

E メールオプション

E メールオプションを使う時はコンピュータ画面上部、プルダウンメニューの「オプション」に行ってください。

このオプションは遠隔授業等の際、ロック解除コードを送信したり、コースの活用状況を把握するための使用ログを送信することにより教師と生徒をつなぐ役割を果たします。また、テクニカル ログファイルでサポートをより強化できます。E メールオプションは「管理者オプション」の「レコードマネージャー オプション」を使って使用不可にすることができます。

E メールされた学習記録をインポートする（オンライン版）

E メールで送られた学習記録は、E メールオプションを使ってレコードマネージャーにインポートすることができます。データをインポートしたいクラスを選択し、プルダウンメニューの「オプション」に行き「E メールオプション」から「E メールされた学習記録をインポートする」を選んでください。ブラウザウインドウが表示されます。E メールで送られた学習記録が入っているフォルダを選ぶとデータがインポートされます。

注：E メールアプリケーションには、添付された学習記録がEメールとは別のフォルダに自動的に保存される場合と、そうでない場合があります。使用しているEメールアプリケーションが何か分からない時は、Eメールのインストール責任者に確認してください。

Eudora：添付されたデータはEメールとは別のフォルダに自動的に保存されます。

Outlook：添付されたデータはEメールと同じスクリーンで読み取ることができます。このデータをマージするには「DynEd Data Attachments Folder」のように新しいフォルダを作り、そこにEメールで送られたデータを保存してください。

テクニカル ログファイルを DynEd へ E メールで送る

ダイネエドのコースウェアをインストールする際問題が生じた場合、通常販売店で適切な指示を与えてくれます。それでも解決しない場合は、ダイネエドのエンジニアにテクニカルログファイルをEメールで送ってください。このファイル（DynEd.log.ファイル）にはバージョン番号などコースのテクニカルな詳細が記録され、このファイルを読み取ることで、エンジニアがどのように問題を解決したらよいかを判断します。

Eメールを送るには、まずレコードマネージャーを開きプルダウンメニューの「オプション」に行ってください。次に「Eメールオプション」から「テクニカル ログファイルを DynEd へ Eメールで送る」を選択すると、ダイアログボックスが表示されます。ボックスにどのような問題が生じているかを書き込み「OK」をクリックします。次に表示されたダイアログボックスの宛名、差出人、CC、SMTPの名前の欄にそれぞれ入力し「OK」をクリックしてください。テクニカル ログファイルがEメールで送られます。

セットアップの仕方を生徒に E メールで送る（オンライン版）

この機能を使うと、管理者がクラスの生徒全員、もしくは特定の生徒にセットアップの仕方をEメールで送信できます。インストラクションにはダイネエドプログラムのダウンロードの仕方が、インストール用ディスクがある場合とそうでない場合で説明されています。設定の中に生徒の名前、パスワード、Eメールアドレスが含まれていますが、プライバシー保護のために削除することができます。

この機能にアクセスするには、インターネットレコードマネージャーを使ってオプションメニューの E メールオプションに行き、「セットアップの仕方を生徒に E メールで送る...」を選んでください。

セットアップの仕方を教師に E メールで送る（オンライン版）

この機能は、管理者が教師にレコードマネージャーのダウンロードの仕方を E メールで送信できます。設定の中にユーザーID、パスワード、教師の名前、クラス名、教師のパスワード、が含まれていますが、プライバシー保護のために削除することができます。

この機能にアクセスするには、インターネットレコードマネージャーを使ってオプションメニューの E メールオプションに行き、「セットアップの仕方を教師に E メールで送る...」を選んでください。

生徒に E メールを送る

この機能を使って、教師は個々の生徒、もしくはクラス全員に E メールを送ることができます。

生徒と教師にメッセージを送る（ローカル版）

この機能で教師と生徒はメッセージを交換できます。この機能はネットワークインストレーションの場合のみ可能です。

付録 A：ダイネッド マネージメント システム

以下にあげたような環境のもと、DynEd マネージメントシステム（レコードマネージャー、ライセンスマネージメント、サポート機能等）を利用して DynEd コースウェアをインストールしたり、テストや学習記録を効率的に管理できます。

スタンドアロン版

学習記録は各コンピュータのハードディスク内に保存される

コースの内容は CD、もしくはハードディスク（ディスクレスの場合）に収録される

ネットワーク版

学習記録はネットワークファイルサーバーに保存される

コースの内容は CD、もしくは各クライアント機のハードディスク（ディスクレスの場合）に収録される

学習記録はネットワークファイルサーバーに保存される

コースの内容はネットワークファイルサーバーのハードディスクに収録される（ディスクレスライセンス契約必須）

遠隔学習

学習記録はインターネット上に保存される。生徒はインターネットアクセスが必要です。先生は、インターネット上のインターネットレコードマネージャーにアクセスして学習記録を管理します。

コースの内容は CD、もしくは各クライアント機のハードディスク（ディスクレスの場合）に収録される

学習記録はネットワークファイルサーバーに保存される。生徒は学習記録を E メールで先生に送信できます。先生は送られてきた学習記録をレコードマネージャーにインポートします。

コースの内容は CD、もしくは各クライアント機のハードディスク（ディスクレスの場合）に収録される

ディスクレス ライセンス システム

ディスクレスのライセンスシステムを使うと、ネットワーク上でコースウェアをインストールし、起動することができます（各生徒はディスクを保持する必要がありません）。このシステムを使用する場合、ライセンス契約が必要です。ライセンス契約は各製品毎にしているだけで、特定の数の生徒が同時にコースウェアにアクセス可能になります。コースウェアが幾つかのディスク（ユニット）で構成されている場合、各ディスク毎にライセンス契約を結ぶことも可能です。又、月単位で契約することもできます。ライセンスに関する詳細は、販売元にご連絡ください。

付録 B：ライセンスマネージメント

ダイネドのマネージメント システムを使うことで、ネットワーク ライセンス プロダクトの ようにコースウェアをサーバにインストールし、異なった形態にセットアップすることができます。マネージメントシステムを利用する場合、ライセンス契約が必要になります。

License Certificates：ライセンス契約をすると、製品購入時に License Certificate が一枚もしくは複数枚添付され、License Certificate には Installation コードと契約内容が記載されています。複数のライセンス契約をした場合、それぞれの契約内容をご確認ください。レコードマネージャー アプリケーションを開いて、プルダウンメニューの「オプション」を選択すると、ライセンスマネージメントのダイアログボックスが表示されます。詳細は「[登録](#)」をご参照ください。

編集

ライセンスを選んでください。

Registration Code を入力してください。

コースを登録してから学習を開始してください。「オンラインに登録」をクリックするか、「www.dyned.com/register」にアクセスするか、または販売元に連絡してください。

Course: Alice in Wonderland (*** NOT REGISTERED! ***)
Discs Licensed: 1
Expiration Date: None
Records Manager Included: Yes

Installation Code: EBJF-AACN-JIM
Confirmation Code: LOKY-OTKQ-AQB1
Registration Code: >>> Not Registered <<<

提出する
オンラインに登録
提出する
戻る

ダイアログボックスの左上に表示された Installation コードを選択すると、ライセンスに関する情報が表示されます。

ライセンスの登録が済んでいない場合は、上のダイアログボックスを使って登録できます。

注：ネットワーク インストレーション、もしくはレコードマネージャーを登録する場合、ライセンスシステムでは三つのコードが必要になります。まず最初に、製品購入時に添付の License Certificate に記載されている Installation コード（このコードが購入したオプションをコントロール）です。インストールの過程で Installation コードを入力すると、正しくインストールされた場合 Confirmation コードが取得できます。次に、Registration コードを取得し、セットアップ プログラムに入力すると登録完了です。登録が完了するとコースウェアが始動します。

複数のライセンス契約：一つのコースで複数のライセンス契約をすることができます。例えば、20人が使用可能な契約に60人の追加契約をすることができます、最高80人迄が同時に使用できる契約が結べます。このように契約はいつでも追加することができます。

付録 C：学習状況の把握

学習進度

外国語を習得するには、単に文法を理解し語彙を学ぶだけでなく習得技術をも学ばなければなりません。80～100%の学習進度に達するためには、様々な角度から言葉に焦点を当て、各レッスンを繰り返し学習することが大切です。予習、理解、練習、復習というサイクルでの質の高い学習をすることにより、文法や語彙を単に暗記するのではなく習得することができます。

学習記録の中に表示されている学習進度は、生徒の学習内容（繰り返しの頻度、録音機能使用回数、音声認識機能の活用度、用語表の活用頻度、正解率等）を加味し、著者が仮に設定

した初級レベルの生徒（英語学習の経験が全くない生徒で母国語が英語に類似していない）と比較して換算されます。これにより生徒が各レッスンを充分学習したか否かが分かります。

Completion Percentage	Symbol	Mastery Test Scores	Symbol
0		0	
1-79		1-84	
80-100+		85+	

上記の表に示されたように、レコードマネージャーは、生徒の学習の成果やマスタリーテストの結果を一目で判断できるようにシンボルで表示します。

生徒のコミュニケーション能力を目標レベルまで向上させるために目標学習量が設定され、学習進度の欄に表示されたパーセンテージを参考に、どの程度深く学習したかを判断します。学習進度が100%ということは、生徒が目標学習量に達するまで学習したことを意味します。生徒が文を繰り返し聴いたり、録音ボタンを使用したり、用語表（コースによっては用語表がない場合もあります）を使ったり、音声録音機能を使って質問に答えたりする度にプログラムがその回数を数え、それらのデータがレッスンの長さやそのレッスンに含まれる文章の数、そのレッスンの内容などに従って分析され記録されます。学習進度により次のレッスンに進んで良いかを決定したり、マスタリーテストが併設されているレッスンでは、テストを受けるのに十分な学習がなされたかを判断することもできます。

学習進度の調整

学習進度は、レッスン終了時の生徒の学習内容を加味し、著者が仮に設定した初級レベルの生徒（英語学習の経験が全くない生徒で母国語が英語に類似していない）と比較して換算されます。この仮に設定した生徒のレベルが実際に学習している生徒のレベルに相当しない場合は、レコードマネージャーを利用して、学習進度を表わすパーセンテージの重みを教師が調整できます。

クラスの平均に対して目標が高過ぎる場合、もしくは低過ぎる場合。又は生徒のレベルがクラスの平均より遥かに高いけれど、次のレベルに移る能力には達していない場合などに調整します。調整するには、レコードマネージャーでクラスを編集、追加する時に表示されるダイアログボックスの目標学習量の欄で、スライダーを「More」又は「Less」の方向に動かしてください。これらの調整はクラス全員に作用し、生徒一人一人の調整はできません。生徒毎の調整の必要性が生じた場合、生徒をグループ分け（新しいクラスを追加）してから調整してください。

シャフラーレベル

学習進度と同じように学習記録に表示されます。ダイネド独自の「シャフラー」メカニズムにより学習内容の幅を変化させ、難易度を自動調整します。シャフラーレベルは学習中の質問に対する正解率によって上下します。最高レベルは3.0で、レベルが3.0に達しない場合は、学習内容が制限され内容の難しい部分は学習できないように設定されています。学習を進め、正解率が高くなるとシャフラーレベルが自動的に上がり、より難しい文法や語彙、込み入った内容のレッスンになります。このように各生徒は自分に合ったレベルで学習を進めることができます。シャフラーレベルがどのように換算されるかは、レッスン、又はコースにより異なります。

学習進度の換算

学習進度は以下に挙げた項目に基づいて換算されます。

- 繰り返しボタンの使用回数、音声認識機能の活用度、録音再生ボタンの使用回数、用語表の使用回数。
- 正解率
- 学習しているレッスンのレベル

学習進度は、著者が設定した各レッスンの目標量に対して生徒が充分学習したか否かを示すものなので、目標量以上に学習した場合は100%以上の数値で表示されます。

管理者ログファイルを表示

管理者ログファイルは生徒の追加、編集、削除に関する情報を記録します。このファイルはローカルサーバのDynEdインストールディレクトリに保存され、レコードマネージャーを起動する際、自動的にアップデートされます。

付録 D : List of Exported Fields

Field	Name	Comment
=====		
1-7	User variables	Can be set by users for special purposes
8	Course Number	The DynEd Product ID Number
9	Course Name	Title of the course
10	Class ID	8 character internal ID code of class
11	Class Name	Name assigned when class was created
12	Reserved	
13	Teacher Name	Name assigned when class was created
14	Student ID	8 character internal ID code of student
15	Student Name	Name assigned when student was created
16	Record Number	Identifying number for this study record
17	Module Number	1-character ID of current module
18	Module Name	Name of current module
19	Lesson Number	1-character ID of current lesson within the module
20	Lesson Name	Name of current lesson within the module
21-27	User variables	Can be set by users for special purposes
28	Start Date	Date study session was started
29	Start Time	Time study session was started
30	Time	Number of Minutes spent in study session
31	Score	Lesson score (some lessons display this value)
32	Level	Shuffler level at end of lesson
33	Shuffler Locked	Obsolete
34	Encounters	Obsolete calculation of student activity
35	Questions Total	Total number of questions asked in study session
36	Questions Correct	Number of questions answered correctly in study session
37	ABC Button	Number of times this button was pressed
38	Translation Button	Number of times this button was pressed
39	English Button	Number of times this button was pressed
40	Microphone Button	Number of times this button was pressed
41	Headphone Button	Number of times this button was pressed
42	SR Attempts	Number of times a Speech Recognition (SR) was attempted
43	SR Correct First Time	Number of times an SR attempt was recognized first time
44	Glossary Used	Number of times a glossary screen was viewed
45	Phrase Count Single	Number of phrases heard (not multiplied by Shuffler level)
46	Phrase Length	Total length of phrases heard in seconds
47	Phrase Count	Number of phrases heard (multiplied by Shuffler level)
48	History Version	Identifies each generation of history field layout
49	Phrase Target	Target value for phrases set by the author for this lesson
50	Questions Target	Target value for questions set by the author for this lesson
51	Targets Weighting	Author's ratio of emphasis on listening vs. accuracy
52	Teacher Weighting	Position of the "Recommended Study Time" slider in the RM
53	Completion Percentage	Calculated Completion Percentage (includes Weighting)
54	Lesson ID	Unique Lesson ID

Copyright © 2008 DynEd International, Inc. All rights reserved.

ソフトウェア使用許諾契約書

1. **注記：**ダイネド・インターナショナル・インク(以下、ダイネドと呼ぶ)は、お客様が本ライセンス契約書にあるすべての条項に合意する場合にかぎり同封したソフトウェアの使用を許諾します。最初に、本契約書をよくお読み下さい。「同意します。」をクリックすると本契約の条項に拘束されることに同意することになります。本条項に同意しない場合は「同意しません。」をクリックしてください。ダイネドは当該ソフトウェアの使用を許諾しませんので、この場合すぐに本パッケージのソフトウェアと書類をすべて、領収書をそえて購入された代理店にご返却下さい。代金が返却されません。
2. **所有権と許可** ソフトウェア使用権は本契約に明示されており、ダイネドは本契約によりお客様に黙示的に許可されるすべての権利を留保します。本契約は、アメリカ合衆国著作権法、連邦または州の法律や著作権法、あるいは他の国の適用法規の下でダイネドの権利放棄を構成するものではありません。
3. **許諾使用** ソフトウェアに関してつぎの権利がお客様に許諾されます。
 - a) **インストールと使用に関する権利** - スタンドアロン・コンピュータの場合ソフトウェアは、一つの CD-ROM から一回に一台のコンピュータに使用することができます。いかなる状況においても、一つの CD-ROM からのソフトウェアを同時に二台以上のコンピュータに使用することはできません。二台目以降のコンピュータについて、一つの CD-ROM からのソフトウェアを同時に使用したい場合、それぞれのコンピュータについてソフトウェアの複写の許諾を受ける必要があります。
 - b) **インストールと使用に関する権利** - ネットワークの場合お客様は、ソフトウェアを一台のファイルサーバーにインストールして、一つのネットワーク (LAN) においてソフトウェア使用許諾契約の添付書類に示す数のワークステーションで同時に使用することができます。このソフトウェアを複数のネットワークで使用したい場合、あるいは一つのネットワークにおいてソフトウェア使用許諾契約の添付書類に示す数より多いワークステーションで同時に使用したい場合には、さらにソフトウェアのコピーの許諾が必要となります。
 - c) **譲渡に関する権利** このソフトウェアをダイネドの明確な書面による承認なしで貸与したり、賃貸したり、リースしたりできません。ただし、この使用許諾契約、オリジナル・ソフトウェアおよびすべての書類を譲渡することで第三者に永久的にソフトウェア使用許諾権を譲渡することができます。この所有権の譲渡によってお客様のダイネドからの使用許諾権が終了します。この第三者は、本契約を譲渡され、ソフトウェアを最初に使用したとき、本契約の条項の下で使用許諾を受けたことになります。ソフトウェアを譲渡した場合、作成したソフトウェアのコピーをコンピュータから除去する必要があるため、お客様の使用のためにソフトウェアのコピーを保管することはできません。
4. **使用の制限** ダイネドの書面による承認がなければ、
 - a) 本契約書に規定するものを除き、ソフトウェアと付属する書類を使用したり、コピーを作成したり、マージしたり、あるいは譲渡したりできません。
 - b) いかなる理由でも、ソフトウェアを逆アセンブリしたり、デコンパイルしたり、ロックを外したり、逆翻訳したり、あるいは逆エンジニアリングしたりできません。
 - c) ソフトウェアを第三者に譲渡できません。
5. **限定保証** ダイネドは、ダイネドまたはその代理店から当ソフトウェアを購入された日から 90 日間、下記の限定保証を提供します。
 - a) **媒体** パッケージにある CD-ROM と書類は、通常の使用において材料上および製作上の欠陥がないものとします。CD-ROM および書類がこの保証を満たしていなければ、欠陥ディスクとともに日付が入った保証書をダイネドまでご返送下さい。弁償として、無料で新品が入手できます。
 - b) **ソフトウェア** このパッケージのソフトウェアは付属する書類に本質的に従っています。ソフトウェアが保証どおり作動しない場合、お客様の賠償要求として、すべてのソフトウェアと書類、さらに日付が入った保証書と故障を明示したものを購入された代理店までご送付下さい。ダイネドは、ダイネドの判断により新しいソフトウェアを提供するか、代金をご返却します。

- c) 保証放棄 ダイネドは、ソフトウェアがお客様の条件にあうとか、中断することなく、エラーフリーで動作することについて保証しません。ダイネドは、特定目的に関する商品適格性や適合性についての暗示的保証を含め、ここに明記していないすべての明示的および暗示的保証を除外し、明確に放棄します。（この保証は、お客様に特定の法的権利を与えるもので、またお客様は法域ごとで変わる他の権利を保有できます。ある法域では、暗示的保証の免責と制限は認められませんので、上記の免責と制限は適用しません。この場合、保証は保証期間までに制限されます。保証期間以降は、いかなる保証も適用されません。）
6. 代金と税金 ダイネドは、支払うべき代金や支払済み代金を返還致しません。当社の純益に基づくもの以外で、当局がこの契約の下でダイネドが提供するソフトウェアに関税、税金、徴税または手数料をかける場合、お客様はダイネドが指定する金額を支払うか、免除書類を提出することに同意するものとします。
7. 責任の限定 お客様の損害に対するダイネドの責任は直接的な損害に限定されるものとし、お客様がこのソフトウェアに対して支払われた金額をこえないものとします。たとえダイネドまたは販売店が損害の可能性について示唆した場合においても、ダイネドは、特別な、偶発的な、あるいは間接的な損害、あるいは経済的な間接損害（損益や損失を含む）について責任を負いません。ある法域では、偶発的または間接的損害の免責や制限を認めていませんので、上記の免責や制限はお客様に適用しません。
8. ダイネドサーバーのホストとしての損害賠償の免責： ダイネドは、本契約に準じたサーバーへのアクセスが維持不可能なため、又は維持失敗のため発生するいかなる直接的、結果的、偶発的な損害も含み、お客様の営業上の失敗、サービスの中断又は遅滞によるデータやサービスの損失を含むが、これに限定されないいかなる損害賠償の責任も放棄します。
9. アメリカ合衆国政府制限権利 同封のソフトウェアと書類は、制限権利により拘束されます。米国政府、政府機関またはその出先機関による使用、複写または開示は、48 C.F.R. 252.227-7013にある「テクニカルデータとコンピュータの権利」条項の(c)(1)(ii)項、あるいは48C.F.R. 52.227-19にある「商用コンピュータ・ソフトウェア - 制限権利」条項の(c)(1)と(2)項で定める制限が適用する場合、その制限を受けます。契約メーカーはダイネド・インターナショナル・リンク(1350 Bayshore Hwy., Suite 850, Burlingame, CA 94010)になります。
10. 輸出規制 お客様は、ソフトウェアおよび書類を、直接的あるいは間接的に米国輸出規制法およびその関連条例によってこれらの譲渡が禁じられている通商禁止国に譲渡しないことに同意するものとします。
11. 契約の終結 このソフトウェアの使用許諾および使用権は、本契約の規定に違反した場合、お客様が保管しているソフトウェアが破損した場合、あるいは自発的にソフトウェアをダイネドに返却された場合、自動的に終結します。終結時には、ソフトウェアと書類はすべて廃棄するものとします。
12. 他の規定 本契約は、カリフォルニア州法にしたがって規制され、解釈されるものとします。これは、本パッケージのコンテンツに関するお客様とダイネドとの完全な合意とし、本パッケージのコンテンツに関する従前の購入注文書、通信、広告あるいはプレゼンテーションに優先するものとします。この契約書の変更あるいは修正は、ダイネドが署名した文書によらないかぎり有効となりません。本契約書に使用する言語は英語です。